



2023-24 年度テーマ

第 2670 地区

宿毛ロータリークラブ会報



- 会長 岡崎 利久
- 幹事 西岡 弘徳
- SAA 高瀬 一也
- クラブ奉仕委員長 池 和明
- 職業奉仕委員長 秋澤 誠
- 社会奉仕委員長 筒井 大八
- 国際奉仕委員長 有田 裕彦
- 青少年奉仕委員長 西岡 弘徳

- 例会日：毎週木曜日 12:30～13:30
- 例会場：宿毛市幸町 秋沢ホテル
- 事務所
〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43
TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417
URL sukumorc-test.m-quartz.com
E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp

例会報告 第2794回 令和5年7月27日（木曜日） 天気：晴

- 例会司会：田淵副 SAA
- 開会点鐘：岡崎会長
- Rソング：それこそロータリー
- お客様：宿毛川柳会 会長 山崎多加至 様

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 有田会長

先日洋菓子協会の会で米子までこっから8時間程かけて行ってきました。特に何もないので水木茂ロードに行きました。なかなか鬼太郎がなくてやっと鬼太郎があって戻ってくると、もう帰ろうと、結構長い道のりで立地は大切ななと思いました。近況報告でした。

■幹事報告 岡崎副会長

- 米山記念奨学会より：
 - ・高知第Ⅰ・第Ⅱ分区協議会開催のご案内
 - ガバナー事務所より：
 - ・2023年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動へのご協力をお願いについて
 - 宿毛ライオンズクラブより：
 - ・2023-2024 会報
- 欠席届 7名

■プログラム

宿毛川柳会 会長 山崎多加至 様 卓話



10ページ程度の機関誌を、毎月50部作り、30名の会員や病院、市役所、図書館、又購読希望の方への宅配等して日々

会員の拡大に取り組んでいます。その機関誌も米月8月号で300分を迎えます。

「門前の小僧首わぬ経を読む」のことわさがありますが、事務局の仕事を通して会員さんの毎月の句を打つわけですから、嫌でも沢山の句を拝見するわけです。自然とノウハウは身につけてきましたが、勉強不足で未だに開発途上であり、そんな訳で人様に講釈を垂れるほど上達はしていません。口汚しではありますが少し川柳についてお話をさせていただきます。

そもそも川柳とは何か？座の文字と言われ、文語体の作と違い口語体の川柳は大変身近です。

川柳とは手句と同じく「五七五」の十七首の「定型時」です。

川柳は世界で一番短い詩の一つで、日本人の言葉のリズム感としてこの形

式は、もっとも安定感があります。

同じ五七五でも川柳と詩の違いは、対照を捉える目の位直と言えますし、手何以外は皆川柳というぐらい、幅の広いものでも有ります。

作句はテレビのプレバトで、おなじみの夏井いつきさんを通して皆さんよくご存知だろうと思いますので、今日は川柳についてお話しします。

川柳といえば第一生命のサラリーマン川柳が有名で、なんかり柳の代表みたいに思われている向きもありますが、少し違いについてお話しします。

川柳の三要素と言われるものが在り、そのひとつに「うがち」が有ります。動詞では「穿つ」と言って穴を開ける事です。

表面からは見えにくいものや、見しているような事柄に目を向けて、それを明るみに取り出してみせたり、常識的な仮面を剥ぎ取るなど、少し意地の悪い視線ですが、このものの見方が「笑い」を誘うのは、それが風刺や批評に楽がるからです。世間のアナをいう」とか「ウガッた、ことを言う」というのがそれで、特に短いフレーズで急所を外さないのが川柳の特性です。

◎井上ひさしさん曰く

難しいことを優しく。優しいことを深く、深いことを愉快地、愉快なことを真面目に書くこと。

となんか解りやすそうに書いて下さっていますが、やってみると中々出ないというのがあります。

日本人の、と言うより、この国では明治政府の富国強兵方針が文教政策まで管理した結果だと思えます。

真面目なもの、深刻なもの、実直醇孝なものばかりが尊重されて、軽みや、おかしみ、楽しさ、ユーモアなどは軽視されるむきがある。日本文学の伝統には「あわれ」と「おかしみ」がある、とよく言われる事ですが、「おかしみ」の伝統は明治からプツンと切れてしまった。

「おかしみ」こそ文化の深上から開くべき花であるのに、なぜか日本人は、面白いもの、楽しいもの、軽やかなものを、悲劇より一段下に見る癖がついている。しかし「おかしみ」を愛さない文化は片手落ちと言うべきものではないかと思う。

大げさかも知れませんが、川柳を作るだけでなく、見ることも含めて、川柳と出合わない人生は不幸であると言われる。

いくつか例を挙げて「サラリーマン川柳」を脱いてみましょう。「無礼誰課長は薄目あけている」

この行き届いた観察、半識な人物描写、うがちとは一種のリアリズムでも在り、こんな何もありません。

「賞与の日処らぬ寿司を食べてみる」

賞与の日ぐらいはちょっぴり登沢をしてみようという「廻らぬすし」が回転寿司の住しさを喚起させ屈折した笑いを引き出します。

もう一句「まだ寝てる家に帰ればもう寝てる」

説明の必要が無いくらいサラリーマンの生活振りが手に取るように解ります。

そして三要素の②ですが「軽み」というのがあります。内容より形式に拘

わる言い方で、サラリと言ったのけた句体から、深い奥行きや広がりを感じさせることです。

ゴタゴタと並べ立てて、何もかも言おうとすると、何体が重くなるばかりか内容的なふくらみもなくなります。

ここで初めてテクニックが要求されます。例に挙げると「石の上三年経てば次の石」

くどくど言わなくてもこれ以上なにも補うことはありません。「石の上にも三年」をベースにして、今の石と次の石を上下に配置しただけで形こそ軽いですが、サラリーマン生活の悲哀を彫り上げています。

そして三要素③は「おかしみ」です。

柳はユーモアの文芸であると言うことが誤解されて、何でも面白、おかしきことを言えばいいと考える向きがあります

が、川柳の笑いは結果であって、目的ではありません。無理矢理に卑猥な事柄や、言葉で笑わせようとしても、しらせるだけで、低次元の言葉遊びもこれに属します。

人間それ自体が結構おかしい存在なのです。川柳にはじわりと湧いてくる笑い。自然のユーモアが望ましいので、くすぐりや、ジョーク、語呂合わせなどは川柳の「おかしみ」とは本*別物なのですが、まだまだそれらが多いのが目立ちます。

おかしみが自然と出る何を挙げて見ます。「入院の部長を見舞うあみだくじ」

だれもが自分に当たらないようにと、あみだくじの結果を見つめる、その変な表情までが想像されて、自然の笑いをあうのです。言外の部長の人柄まで行術としてくるのも、この句のおもしろさです。

もう一句「単身赴任電話の声が明るすぎ」

赴任先からの電話が落ち込んで居るところか、明るく弾んでいるとなると、留守宅の妻は逆に穏やかならぬ心境になるという機微を捉えて、ゆっくりとしたおかしみが伝わってくるでしょう。

仲のいいご夫婦の何で「白鳥と思った妻はワシだった」「妻昼寝白いハンカチかけてやれ」「節分に鬼はいらない妻が居る」

など、など、ご大気で楽しまれている方々は沢山いらっしゃいます。

古川柳では「男ならずくに掬うに水鏡」この句を聞いて男性、女性どちらの句かおわかりになりますか？

もう一度詠みます

男性の句のようですが実は女性が水に映った自分を見て読んだ句で男なら水鏡などと、写したりせずにくすぐりと詠んだのか奥の深い句として紹介されています。

このように三要素は先ほど、説明したように、「おかしみ」はあくまでも結果で在り、目的ではありません。

「うがち」をベースに、「軽み」というテクニックが加わり、「おかしみ」を生むと言う立体機造になっているわけです。

と、説明致しましてもすぐ実践できるものではありません。

初心者の方へ少しアドバイスをさせていただきます。

まず、沢山のすぐれた句を詠む。沢山、何を作る。とか有りますが取り組み方としまして

① まず始めに「自分のことを題材にする」

いきなり詠もうとしても、何からどう初めていいのかわからなくて当然です。まずは興味を持っている事や、好きなものを題材にしましょう、花、写真、旅、恋、家族、・・・どんな題材も素敵な川柳になり得ます。

そして②番目に「言葉を書き出してみる」

題材を決めたら五音や七音に拘らず、題材から浮かんでくる言葉や情景をどんどん書き出してみます。例えばガーデニングが題材なら、花の色や「育す」といった言葉が浮かぶかも知れない。水をやる時の気持ち。表情、服装、使う道具、様々なイメージを、自在に枝分かれさせて下さい。

③番目に「まとめたら声に出して見る」

書き出した言葉や浮かんだ情景の中から、中心にする言葉を選び、五音七音にまとめていきます。

ビブレも上な（かみご）三最初に来る五首から作る必要はありませんし、新たに浮かんだ言葉や情景も加え、作っていきます。ベースができあがったら声に出して詠んでみて下さい。リズム感や言葉選びに無理がある場合は詰まることが多い

いいので。気になる部分の言葉や並びを直しましょう。

「笑っている笑顔」や「電柱の柱」など言葉の重後にも注意して下さい。

上下の近べ替えでもかなり変化があります。

④ 番目に出来たら「人に見て貰う」

自分の句を客観的に眺めることがとても大切です。ある人は「夜中のラブレターの法則」と呼んでいるそうです、思いを込めた句ほど独りよがりになりがち。そこで特に最初の頃は、だれかに見て貰う事をお勧めします。家族や友人でもかまいません。

⑤ 番目に「お題で呼んでみる」

お題に沿って詠むのも川柳の醍醐味、この場合もステップ②以降の進め方はまったく同じです。自分の何がどれくらいのレベルなのかを知りたい人には、公募川柳に応募するのもお勧めです。

ちなみに宿毛川柳会では毎年十一月に川柳大会を、四国四県、（遠くは大阪からも）案内をして100人規模で行ってさましたが、最近三年間コロナの影響でやむなく中止にしましたが、今年は11月12日の日曜日に開催するように準備を進めています。

興味のある方は是非おいで下さい。約1600何の中から344句の入選句、その中より24句が秀吟賞、さらに市長賞、議長賞、教育長賞と3句が表彰されます。

岡崎会長さんには市議会議長の折ご出席頂いた記憶がありますが。如何でしたか？

興味のある方は、宿毛川柳会、例会を毎月第二土曜日に文数センター二階の第一会議室で行っていますので、入会していなくても参加可能です。是非いらっしゃって下さい。



■ニコニコ

無し

■出席報告

54. 55%